

山ごころ



7月はホタルの季節です。
秩父地域各所で
見ることが出来ます。

大滝せせらぎ

里ごころ

はたおと秩父

秩父市

地域おこし協力隊たより

七月号
No. 32



※ ホタルは光に敏感です。必ず最低限の明かりで
足元だけを照らして近づくようにしましょう。

お茶摘み体験

5月31日、6月6日、7日の三日間、栃本にてお茶摘み・製茶体験イベントを実施しました。三日間で埼玉や東京、千葉、神奈川から、合計13名の方にお越し頂きました。

体験イベントでは、午前中、お茶摘みをしました。皆さん畑に広がるお茶の香りに驚かれています。また、ほとんどの方がお茶摘みは初めてで、とても楽しまれていました。

茶葉を摘んだら、昼食をとり、製茶作業を行いました。製茶するための道具は私が自作したものを使用しました。よく燃れた、細かい茶葉にはなりませんでしたが、良い香りのする茶葉ができました。作業を終えた後は製茶したての茶葉で淹れたお茶を楽しみました。

今回の体験イベントを通して、参加者の方々には、普段経験することのできるなり、手作りするごとの大変さや楽しさ、また大滝の魅力をお伝えできたのではないかと思います。

今後とも様々な体験イベントを実施して、大滝の魅力を発信していきたいです。

空き家バンク山梨視察

6月25日、ちちぶ空き家バンク推進委員会の方々に同行し、山梨県南アルプス市と身延町の田舎暮らし体験施設を視察しました。まず、南アルプス市では会員制市民農園を行っていました。約450平米の畑に、滞在するための50平米の家が付いて、入会金と年会費がともに約4万円とのことでした。また、契約は一年更新で、最大5年間継続できます。農園は全部で30区画あり、現在は全て貸出中とのことでした。

次に身延町では町に譲渡された空き家を改築し集落の行身に参加することを条件に賃貸を行っていました。こちらは年間利用料29万円でした。物件は3軒あり、その内2軒が貸出中とのことでした。秋父にも空き家が多くあるので、活用方法を考えようが必要かあると思いました。

秩父市地域おこし協力隊
吉本 隆久

協力隊 Facebook ページ
「いいね」をたくさんお願いします！

秩父市役所 大滝総合支所 地域振興課
TEL: 0494-55-0862
e-mail: a92116@city.chichibu.lg.jp



はたおと 秩父

影森小学校

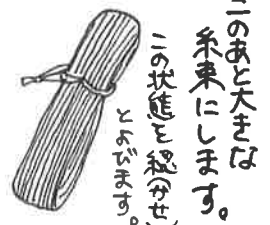
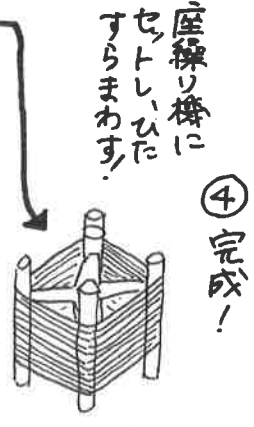
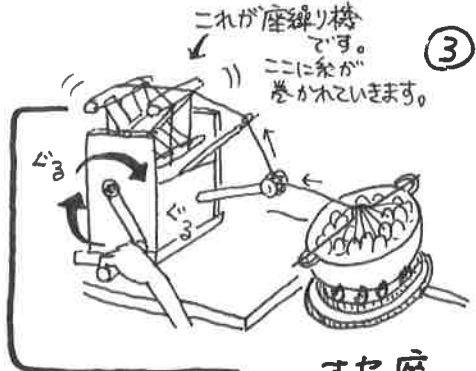
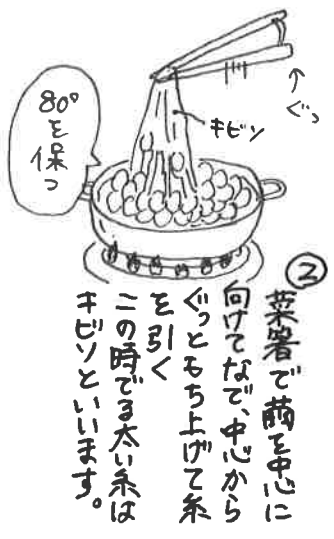
型染め出前授業



六月一二日、影森小学校にて型染めの出前授業を行いました。
はじめは秩父銘仙の歴史と、どうやってできていくかの説明を行いました。生徒たちはお蚕を見なれない子も多く、お蚕の早実や日本の繭の中にさなぎがいることを話すだけでも子もいました。ですがその後座繰りで糸を引く動画を見せると感動していました。また、玉虫効果のある銘仙に感動していて、こんなにキレイなんだ！と嬉しい感想ももらいました。
型染体験授業では、今年度よりポテくまくんの型を導入し、それがとても人気でした。赤・青・黄の三色しか染料のない中でそれぞれ好きな色を作り染めていました。

座繰り引きを教えてもらいました！

座繰りは昔から行われている繭から糸をとる方法で、秩父太織では現在でもこの方法で糸を作っています。



お問い合わせ
秩父市役所 商工課
地域おこし協力隊 佐俣 菜津子
電話：0494-2515208
メール：shoko@city.nagano.lg.jp

秩父歳時記 7月

秩父はお祭の多い町!! その一部をご紹介します😊

川瀬祭

開催日：七月一九・二〇日

秩父の夜祭は冬の夜に主役は大人で行われますが、川瀬祭は夏の昼に主役は子供で行われます。秩父神社の摂社である日御碕(ひのみさき)神社の例祭で、疫病が最も流行する季節である夏に、強い荒々しい神によって疫病を追い払うお祭です。

七月一九日の宵宮祭では子供たちによって各町会(番場町・宮側町・東町・熊木町・道生町・上町・中町・本町)の屋台・笠鉾の曳き回しが行われます。屋台や笠鉾に乗る囃子手や花笠をつけた拍子木、曳き子は子供たちが務めます。夕方からは秩父神社に全ての屋台・笠鉾が集まって日御碕神社の御祭神である須左エ男命(すさのおのみこと)をお迎えする夫王柱立て神事が行われます。その後に各町会の若者が荒川の武の鼻に水を汲んで帰り、町内を清めて回る「お水取り」の行事が行われます。(現在は町会により日が異なります。)

七月二〇日の午後、笠鉾・屋台が先導し、荒川武の鼻斎場に向け御神幸行列が行われます。重量約四〇〇キロの白木造

りの神輿を若者たちが担いだまま荒川の清流に入り、「ワッショイ、ワッショイ」の掛け声とともにまわれる神輿洗いを行います。



神輿洗い



拍子木の子どもは花笠をつけます

囃子手は昼は扇子、夜は提灯を持ちます。

猪鼻の甘酒祭

開催日：七月第四日曜日

川瀬祭と同じく疫病払いの祈願のお祭で、秩父市猪鼻の熊野神社で行われるお祭です。この地区には日本武尊が猪を退治したお礼に甘酒を献じた伝説にこのお祭は由来しています。大樽に満たされた甘酒を素裸に禪一丁であらびを履いた氏子がかき合い、疫病を退散させるというものです。



バシヤ

バシヤ